

時津町は「家読」を推進しています

# たまには テレビをけして

ようじむ 幼児向け 2023年 ねん 春号 はるごう



とぎつちょうりつとぎつとしょかん  
発行：時津町立時津図書館

## うちどく 家読とは

家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す。これが「うちどく（家読）」です。難しいルールは要りません。

家族みんなでルールを決めてはじめてみましょう。

家族で同じ本を読みあったり、おとうさんやおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい時間を過ごしましょう。



### 「ちいさいおねえちゃん」

いとう みく/作 えがしら みちこ/絵 (岩崎書店)

弟おとうとが生まれてから、ママのお膝ひざの上にはいつも弟おとうとがいます。とっこちゃんは、なかなかだっこしてもらえません。とっこちゃんは「だっこ、だっこ、だっこ！」とあかちゃんのようにいいます。そんなとっこちゃんに、ママは「ふたりでおでかけしない？」と声をかけました。



### 「どんなはながさく？ させつのはな」

きのした けい/作 阿部 真由美/絵 (コクヨ)

春はるには、いろいろなお花はながさくのでわくわくしませんか？

お花はながあると、心こころも部屋へやもぱあっと明るあかくなります♪

春はる、夏なつ、秋あき、冬ふゆ。それぞれの季節きせつにはどんな花はながさくのかな？

お花はながぱっと咲さくしかけ絵本えほんです。

## 番外編

パママあうち  
de  
のんびり時間



### 「3人のママと3つのおべんとう」

クク チスン/作 斎藤 真理子/訳 (プロンズ新社)

ハナマンションに住む3人のママの朝あさはいつも大忙し。きょうはほしのこようちえんの遠足えんそくの日。ママたちは早起はやあきしてお弁当べんとうを作りました。それから、いつものお仕事しごとに。そんな3人にんは「何かなに」が起おこっていることにまだ気づきいていません。いったい「何なに」が起おこっているの？



### 「おとうとがおおきになったら」

ソフィー・ラグーナ/文 ジュディ・ワトソン/絵  
当麻 ゆか/訳 (徳間書店)

テオはぼくのおとうと。まだあかちゃんだから、いっしょにはあそべない。

テオがおおきふたりになったら、やりたいことがたくさんあるんだ！二人で、じてんしゃにのってジャングルにいたり、うみべでぼくたちのおしろをつくったり…。おにいちゃん、おねえちゃんいっしょになりたいきみにぴったりの一冊。



### 「いちごです」

川端 誠//作 (文化出版局)

みんなは、いちごはすきかな？あまくて、すっぱくて、かわいくって、おいしいいちご。

いろんないちごがつまった、赤あかちゃん向むけの絵本えほんです。

みんなでいちごたを食べたべっこしよう♪



### 「スーツケース」

クリス・ネイラー・バレストロス/作  
くぼ みよこ/訳 (化学同人)

ある日、見みなれない動物どうぶつが、おもそうなスーツケースみをもってやってきました。それを見みたほかの動物どうぶつたちは、中なかに何がなにはいつているのかきすご〜くきになります。

もちぬしがつかれてねてしまったので、動物どうぶつたちはスーツケースをこじあけてしまいました。すると…。